

【記入例】

別記様式第4号（その1）

（用紙 日本工業規格A4縦型）

履 歴 書

すべて「和暦」で記入

履 歴 書			
フリガナ 氏 名	ヨココク（タナカ）タロウ 横国（田中）太郎 ※旧姓・通称等使用者は 本名を（ ）で併記。	性別 ※1	生年月日（年齢） 昭和XX年X月X日（満XX歳） ※採用予定日時点の年齢を記入。
現住所 電話番号 e-mail	〒 -		
学 歴			
年 月	事 項		
平成XX年4月 平成XX年3月	○○大学教育学部△△学科 入学 ○○大学教育学部△△学科 卒業（学士（教育学）） 中学校教諭一種免許状（数学）（免許番号 平XX中一種第XXXX号） 高等学校教諭一種免許状（数学）（免許番号 平XX甲一種第XXXX号）		
平成XX年4月 平成XX年3月	○○大学大学院教育学研究科△△学専攻修士課程 入学 ○○大学大学院教育学研究科△△学専攻修士課程 修了（修士（教育学）） 中学校教諭専修免許状（数学）（免許番号 平XX中専第XXXX号） 高等学校教諭専修免許状（数学）（免許番号 平XX高専第XXXX号）		
平成XX年4月 平成XX年3月	●●大学大学院教育学研究科△△学専攻博士課程 入学 ●●大学大学院教育学研究科△△学専攻博士課程 修了 博士（教育学）（●●大学）（博甲第XXX号） ※取得した資格及び学位を記入。資格 は登録番号、学位は専攻名称を付記。		
職 歴			
年 月	事 項		
平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月	□□市立●●中学校教諭（平成XX年3月まで） □□市立○○中学校教諭（平成XX年3月まで） □□市教育委員会指導主事（平成XX年3月まで） ○○大学教育学部非常勤講師（平成XX年3月まで）「△△学I」 ◎◎大学教育学部講師（平成XX年3月まで）「△△論」 ◎◎大学教育学部准教授（現在に至る）「△△論」 ◎◎大学大学院教育学研究科准教授（現在に至る）「△△特論」 ※主な授業科目を 行末の一つ記入。		
学会及び社会における活動等			
現在所属している学会	日本△△学会、日本○○学会		
年 月	事 項		
平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月 平成XX年4月	日本△△学会 会員（現在に至る） 日本○○学会 会員（現在に至る） 日本○○学会 理事（平成XX年3月まで） ☆☆市☆☆委員会 委員（平成XX年3月まで） ※現在所属している学会と過去に所属していた 学会、委嘱を受けている公的機関の委員会等に ついて時系列で記入。		
賞 罰			
年 月	事 項		
年 月 年 月 年 月	※学会等からの表彰や職務上の表彰、懲戒処分等を記入。 該当する事項がない場合は年月欄を記入せず、事項欄に「なし」と記入。		
現在の職務の状況			
勤務先	職名	学部等又は所属部局の名称	勤務状況

◎◎大学	准教授	教育学部 大学院教育学研究科	「△△論」 ※大学教員以外の場合は 職 「△△特論」 務の内容を簡潔に記入。
令和 年 月 日			上記のとおり相違ありません。
			氏名（署名） ※2 横国 太郎

(注)

※1 「性別」の記入は任意ですが、ダイバーシティ推進の観点から記入にご協力願います。

※2 「氏名（署名）」は、本人が自署してください。

【記入上の注意】

- 「氏名」の欄について、旧姓等の通称名を使用している場合は（ ）書きで本名を併記してください。
- 「生年月日（年齢）」の欄の年齢には、採用予定日時の満年齢を和暦で記入してください。
- 「学歴」の欄について
 - 大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学校卒業以上の学歴（大学の別科及び専攻科を含む。）を有する場合、すべての学歴（授与された学位及び称号を含む。）を入学年月も含めて和暦で記入し、それ以外の場合には、最終学歴を記入してください。
なお、博士課程において所定の単位を取得し博士の学位を授与されないまま退学した場合には、「博士課程単位取得後退学」と記入してください。
 - 学位については、付記された専攻分野の名称を併記してください。
例、「工学修士」、「修士（工学）」、「工学士」、「学士（工学）」など
なお、平成3年7月以降に授与された学位は「博士（〇〇）」、「修士（〇〇）」、「学士（〇〇）」となります。
 - 教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の資格についても記入してください。この場合、登録番号等も併記してください。外国における資格にあつては、正確に記入するとともに、その資格の内容を日本語で併記してください。
 - 学生としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - 外国の大学等の経歴を記入する場合は、大学等の名称や学位等はアルファベットとカタカナを併記し、国名を必ず記入してください。職歴についても同様の体裁にしてください。
 - 特に海外の学位については、学位記の記載どおり正確に記入してください。
- 「職歴」の欄について
 - すべての職歴を和暦にて時系列で記入するとともに、職名、地位等についても明記してください。
 - 各職歴について在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入）、現職については終了時の年月の代わりに（現在に至る）と記入してください。
 - 研究者としての外国の大学や研究機関等への留学歴についても記入してください。
 - 大学教員の職歴については、主な担当授業科目を行末に「」で併記してください。
- 「学会及び社会における活動等」の欄について

「事項」には、現在所属している学会と過去に所属していた学会のすべてについて、会員又は役職名を時系列にて和暦で記入してください。

また、現在委嘱を受けている、又は過去に委嘱を受けた公的機関の委員会等のすべてについて、委員又は役職名を記入してください。

なお、いずれの事項も、在職期間を明確にし（行末のカッコ内に終了時の年月を和暦で記入）、現職については終了時の年月の代わりに「現在に至る」と記入してください。
- 「賞罰」の欄について
 - 学会や出版社からの表彰や職務上の表彰や懲戒処分、研究費の不正受給に係る処分等を記入してください。
 - 上記等の事項がない場合は、年月欄を記入せず、事項欄に「なし」と記入してください。
- 「職務の状況」の欄について

「職名」については、大学等の教員の場合は、『教授』『准教授』等の職位を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、『取締役』『理事』等の職名を記入してください。職名が無い場合は『一』を記入してください。

「勤務状況」については、大学等の教員の場合は、担当授業科目を記入してください。それ以外の職に従事している場合は、職務の内容を簡潔に記入してください。

【記入例】

別記様式第4号(その2)

すべて「和暦」で記入

(用紙 日本工業規格A4縦型)

教育研究業績書		
		令和 年 月 日 氏名(署名) 横国 太郎
研究分野	研究内容のキーワード	
※主なものを1つ以上3つ以内で記入	※主なものを1つ以上3つ以内で記入	
教育上の能力に関する事項		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 担当予定授業科目に関する「教育上の能力に関する事項」を 年月日順(過去→現在)に簡潔に記入 </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 明確かつ簡潔に記入 </div>
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例 ① ICTを活用した授業	平成XX年X月 ～現在	◎◎大学の「△△概論」の授業において、ICTを活用して……、……を実践した。
2 作成した教科書, 教材 ① あたらしい○○	平成XX年3月 検定	○○書籍 担当: 「……」
3 教育上の能力に関する大学等の評価 ① ○○による授業評価	平成XX年X月 ～平成XX年X月	○○の授業評価でX.X点(X点満点で平均X.X点)を受けた。
4 その他 ① ◎◎大学におけるFD活動	平成XX年X月 ～平成XX年X月	……、……。
② ◎◎大学教育賞受賞	平成XX年3月	……、……。
職務上の実績に関する事項		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 担当予定授業科目に関する「職務上の能力に関する事項」を年月日順(過去→現在)に簡潔に記入 </div>		
事項	年月日	概要
1 資格・免許 ① 中学校教諭一種免許状(数学) (免許状番号 平XX中一種第XXXX号) ② 高等学校教諭一種免許状(数学) (免許状番号 平XX高一種第XXXX号) ③ 中学校教諭専修免許状(数学) (免許状番号 平XX中専修第XXXX号) ④ 高等学校教諭専修免許状(数学) (免許状番号 平XX高専修第XXXX号)	平成XX年3月 XX日 平成XX年3月 XX日 平成XX年3月 XX日 平成XX年3月 XX日	
2 特許等 ※担当する教育内容等に関連した特許等があれば記入。		なし

<p>3 実務の経験を有する者についての特記事項 (学校等での実務経験)</p> <p>① □□市立中学校教諭</p> <p>② □□市教育委員会指導主事</p>	<p>平成XX年X月X日～平成XX年X月X日</p> <p>平成XX年X月X日～平成XX年X月X日</p>	<p>□□市立●●中学校教諭としてX年、○○中学校教諭としてX年勤務し、平成XX年X月～平成XX年X月に教育実習生の指導等を担当。 ○○中学校では教科主任として平成XX年の△研究会で事例発表を担当。</p> <p>□□市教育委員会指導主事として…を担当。</p>
<p>4 外部資金の獲得実績</p> <p>①科学研究費補助金（基盤研究（C））</p> <p>②□□財団研究助成金</p>	<p>平成XX年度～平成XX年度</p> <p>平成XX年7月～平成XX年6月</p>	<p>研究分担者 「…（研究題目）」（課題番号：XXXXXX）</p> <p>「…（研究題目）」研究代表者</p>
<p>5 その他 ※1～3に該当するもの以外の事項について記入</p>		

研究業績等に関する事項

◆研究業績を記入する際の留意点

- ・ 学位論文は必ず記入（大学院在席時の研究分野を確認）
- ・ 学位論文以外の業績は過去5年以内について必ず記入
- ・ 学位論文以外の業績は原則として過去10年以内に発表されたものとするが、主要な業績と考えるものの記入についてはこの限りではない（職位適合判定の観点）
- ・ 担当予定授業科目の内容に関連する業績は必ず記入（科目適合判定の観点）
- ・ 著書等の区分毎に、発表順に記入し、原則とした期間以前に発表されたものについては末尾に「ほか●●件」と記入

著書 誌・教育誌における論文等の名称	共著の別	発行又は発表の年月	雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 1. ○○○○ 2. △△△△	単 共	平成XX年X月 平成XX年X月	○○書店 △△社	……………。（全215頁） ……、……。 (編著者：●●●●●、△△△△、分担執筆：○○○○、■■■■■、横国太郎、他○名) ※自身の名前に下線 担当箇所：第○章第○節、「……」pp.○○-○○
(学術論文) <学位論文> 1. ○○○○ 2. △△△△ <査読付き論文> 1. …… 2. ……	単 単 単 共	平成XX年X月 平成XX年X月 平成XX年X月 平成XX年X月	○○大学(修士) ●●大学(博士) △△△ vol. 45 ○○ 30巻1号	……………。 ……、……。 ……、……。 (pp. ○○-○○) ……、……。 (分担執筆：横国太郎、○○○○、■■■■■、

(注) 「氏名(署名)」は、本人が自署すること。

【記入上の注意】

1. 「氏名」の欄について
「氏名」の欄は、本人が自署してください。
2. 「研究分野」及び「研究内容のキーワード」の欄について
 - ① 「研究分野」の欄には研究分野の主なものを1つ以上3つ以内、「研究内容のキーワード」の欄には研究内容を表すキーワードを1つ以上5つ以内で記入してください。
 - ② 専攻分野についての実務等の知識や経験を有する者(実務家教員)としての審査を希望する場合(実務家教員の募集時に限る)には、「研究分野」の欄に「〇〇に関する実務」と記入し、「研究内容のキーワード」の欄に職務内容を表すキーワードを5つ以内で記入してください。
3. 「教育上の能力に関する事項」及び「職務上の実績に関する事項」の欄について
 - ① 「事項」の項には、各区分に該当する担当予定授業科目に関連する教育上の能力及び職務上の実績に関する事項を過去から現在まで簡潔に記入してください。
 - ② 「年月日」の項には、当該事項に係る実施時期、発表時期、従事期間等を和暦で記入してください。
 - ③ 「概要」の項には、当該事項に係る内容の概要のほか、当該活動における地位や役割、成果も記入してください。
 - ④ 「教育上の能力に関する事項」の例
 - ア 「1 教育方法の実践例」について
※教育機関において授業科目を担当している教員が、学生(児童・生徒を含む)の理解促進のために工夫を凝らした分かりやすい授業を実施しているかを記入してください。
(例) 優れた教育方法の実践、ICTを活用した授業実践、ICT教育環境整備の経験、学生の授業外における学習促進の取り組み、講義内容のwebでの公開等。
 - イ 「2 作成した教科書、教材」の例
※作成した教科書、教材等の概要。
研究業績の「著書、学術論文」との重複も可としますが、その場合は、本項目の概要欄に(○頁「(番号と名称を記載)」を参照)と記入してください。
 - ウ 「3 教育上の能力に関する大学等の評価」
※教育上の取り組みに対して大学から特に高い評価を受けた場合のみ記入してください。
(例) 各大学における自己点検・評価での評価結果、学生による授業評価、教員による相互評価等の結果、上記以外で学長、学部長等が行った評価
 - エ 「4 その他」
※大学教育改善に関する団体等での活動の概要、教育実績に対する表彰等
 - ⑤ 「職務上の実績に関する事項」の例
 - ア 「1 資格、免許」
○ 教員、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等の資格で担当予定授業科目に関連するもの
 - イ 「2 特許等」
○ 特許、実用新案等で担当予定授業科目に関連するもの
 - ウ 「3 実務の経験を有する者についての特記事項(学校等での実務経験)」の例
履歴書の「職歴」欄に記入した事項を中心に、担当する教育内容等に対応した下記の事項を記入
○ 国公立学校(小・中・高・特別支援学校・高等専門学校)における実務経験
○ 教育委員会等における実務経験
○ 行政機関における調査官・行政官等で、学校教育に関連する実務経験
※上記の実務経験において、役職、果たした役割、期間、成果等を「概要」欄に記入
 - エ 「4 外部資金獲得実績」
○ 科学研究費補助金等の補助金、共同研究、その他の研究助成金等について記入
○ 研究代表者・分担者の別、研究題目を「概要」欄に記入
 - オ 「5 その他」
○ 職能団体等からの実務家としての卓越性に関する評価・推薦等
○ 論文の引用実績等
4. 「研究業績等に関する事項」の欄について
 - ① 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものは記入しないでください。
 - ② 「著書、学術誌・紀要・学会誌・教育誌における論文等の名称」の項について
 - ア 研究等に関連する主要な業績を、「(著書)」、「(学術論文)」、「(その他)」の項目に適切に区分し、各業績を発表順に通し番号を付して記入してください。
 - イ 著書については、書名を記入してください。

- ウ 学術論文については、国際学術雑誌、学会機関紙、研究報告、紀要等に学術論文として発表したものの題名を記入してください。学位論文、査読付き論文、教育実践記録等、その他（発表要旨等を含む）に区分して記入してください。学位論文についてはその旨（修士論文、博士論文、など）明記し、査読付きの論文については、題名の後に「（査読付）」と記入してください。
- エ その他（発表要旨等を含む）については、総説、学会抄録、依頼原稿等にあつては当該記事のタイトルを、報告発表、座談会、討論等にあつては当該テーマを、芸術関係の業績（作品、演奏記録、個展等）は、作品名・演奏会名・個展名等を記入してください。
- キ 著書、学術論文等が英語以外の外国語の場合、著書名等（共著の場合は本人担当部分の章、節、題名も含む）はその外国語で記入するとともに、（ ）書きで訳文を記入してください。
- ③ 「単著・共著」の項には、当該著書等に記載された著作者が単独である場合には「単著」、著作者が複数いる場合には、監修、編集、編著、共著、部分執筆等の関わり方によらず「共著」と記入してください。（一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分が単著であっても、共著として記入してください。）
- ④ 「発行又は発表の年月」の項には、当該著書等の発行又は発表の年月を和暦で記入してください。
- ⑤ 「発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称」の項について
- ア 著書については、発行所を記入してください。
- イ 学術論文等については、発表雑誌等の名称、巻・号、掲載ページ等を明記してください。
- ウ 報告発表等の場合には、学会大会名、開催場所等を明記してください。
- ⑥ 「概要」の項について
- ア 当該著書等の概要を200字程度で記入してください。
- イ 当該著書等が共著の場合には、本人の担当部分の章、節、題名、掲載ページ（例. pp:○○～○○）を記入するとともに、本人の氏名（下線を付すこと。）を含め著作者全員の氏名（多数にわたる場合は主要な共著者の氏名）を当該著書等に記載された順に記入してください。（例. 編者△△△△、分担執筆○○○○、□□□□、××××）
- また、本人の担当部分の抽出に困難があるときは、その理由を記入してください。（例.「共同研究により担当部分抽出不可能」など）
5. 「教育上の実務の経験を有する者についての特記事項（各種講座、授業公開・研究発表や研究会・研修会での講演及び助言実績等）」の欄について
- （例）公開講座・教員免許状更新講習・免許状講習・研究会・研修会等での講演及び助言実績、研究会等での授業公開・研究発表や研究団体の実践的・実証的業績、その他担当予定授業科目に関する業績（成果を上げた教育に関する取り組みを記入）